

都心部における回遊性の向上

【地域政策室】

1. 目 的

都心部における賑わいと交流を創出するために拠点広場を整備し、歩行者ネットワークを形成するための快適な歩行者空間を確保することで新たな人の流れを創出し、賑わいのある都心形成の実現に向け、都心部回遊性の向上を図る。

2. 概 要

◆拠点施設及び広場等の活用

中心市街地の拠点施設として、様々なイベントや活動などを通し、市民の憩いとふれあいの場を提供することにより、市民相互の交流を図り、中心市街地の集客力を高める。

また、他の公共施設や商業・業務機能と連携することにより、まちなかの回遊性を高め、魅力的な都市空間の形成を図る。

<オリオン市民広場>

面積	: 1,978 m ²
整備内容	: 広場（ウッドデッキ2段構造、ガラス屋根） ステージ（中央部ゴムチップ材、外周部大谷石）
利用時間	: 9時～21時

<宇都宮城址公園>

面積	: 約3.7ha
整備内容	: 歴史建築物（清明台・富士見櫓 土塀）、土塁、堀、 イベント広場、植栽、緑道など
スケジュール	: 平成18年～ 土塁内活用検討

<バンバ再生事業>

① 市民プラザ

整備機能	: 市民サービス機能、市民活動・交流センター機能、情報発信機能
サービス内容	: 証明発行等の住民サービス、遊び体験や子育て相談、妖精資料展示、消費生活相談、国際交流プラザ等

② バンバ市民広場

整備内容	: 広場（面積1,000 m ² ）
※広場全体面積	: 約2,500 m ² （二荒山神社参道 約750 m ² 含む）

③ 水景施設の整備

再開発事業により神社前に整備される拠点広場に、市として水景施設（人工滝）を設置し、憩いと潤いを創出する。

スケジュール：平成 19 年 6 月 再開発ビル竣工

7 月 水景施設竣工，市民プラザ供用開始

◆中心商店街景観整備支援事業

中心商業地の集客力を高めるため，商店街のファサード，景観整備を進め，回遊性の向上を図り，商店街の活性化を目指す。

① 池上町商店街振興組合

- ・ ファサード整備計画の策定

スケジュール：平成 19 年 4 月 商店街の統一コンセプトづくり

5 月 わがまち自慢補助金の申請

② みはし通り商店会

- ・ 城址公園の整備と歴史軸の街路整備が終了したため，街路景観との整合性を保ちつつ，景観整備事業の実施に向けた合意形成を図る。